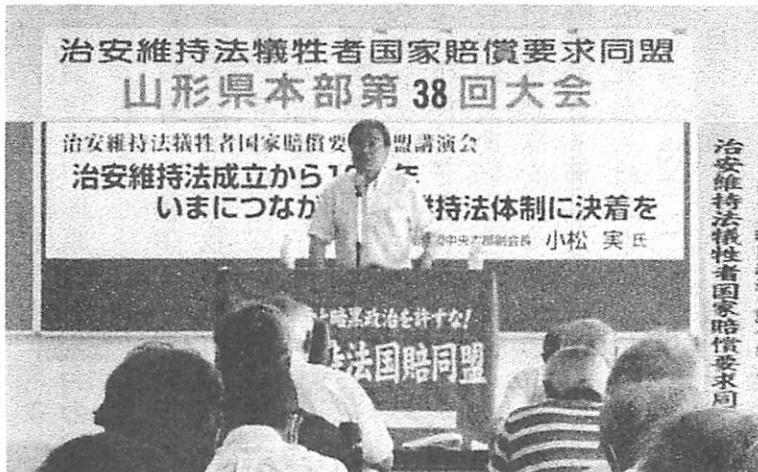


県本部大会で講演する小松実中央
本部副会長 7月6日



治安維持法百年を四百人会員で迎えよう!

小松実中央本部副会長が記念講演 「いまにつながる治安維持法体制に決着を」

第38回山形県本部大会が7月6日、山形市南部公民館で開催されました。午前中、大会に先立ち小松実中央本部副会長が「いまにつながる治安維持法体制に決着を」と題して記念講演、55名が参加しました。小松氏は、安倍・菅・岸田政権によって急速に強められた「戦争する国」づくり、政治の歪みの根底に、戦後の占領政策転換に伴う治安維持法勢力の復権で、戦犯・特高・官僚・思想検事が政界・官僚・司法界にはびこったことにあると指摘。

今につながる治安維持法体制ともいべき実態をあぶりだし、そ

の責任を追及し、決着をつけることなしに、戦後政治の歪みを正し、憲法の理念、民主主義を真に開花させていくことはできない。さまざまな運動体のなかで、ここを課題として奮闘しているのは国賠同盟であり、組織をもつとともに大きくしなければならないと強調しました。

「今もつて治安維持法体制に決着できないのは何故か、非常に分かり易かつた」「この講演を力に、署名運動、会員拡大を大きく飛躍させたい」という感想が多く寄せられました。（感想は5頁。講演は次号へ）

「不届」No. 602付録
山形県版 No. 420
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
山形県本部
〒994-0073
天童市寺津263
瀬野幸男方
TEL. FAX.
023-654-3255

- 私たちの運動の基本
ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- ①治安維持法体制の復活に反対する。
 - ②国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法であつたことを認めること。
 - ③国は、治安維持法犠牲者に、謝罪と賠償を行うこと。

第38回山形県本部大会

-2-

新『テキスト』による学習会・拡大・署名・宣伝を強めよう

午後から、菊池喜栄副会長の音頭で前大会以降の物故者に黙祷をささげ、第38回山形県本部大会の開会を宣言しました。

◆物故者…斎藤陽子・遠藤祝・青木昌生(酒田)、我妻秀行(米沢)、石垣政志(北村山)、金田義文・今野和子(西置賜)の各氏

▼菅野真治(北村山)、佐藤良和(酒田)両氏を議長に選出。

白根澤澄子会長が全国大会の報告を兼ねてあいさつ。最初に渡辺治氏の記念講演を紹介、「戦争と暗黒政治をめざす策動は進行しているが憲法は死んではない。岸田政権のたぐらみを潰すこと」は可能である「自公政権を倒し、戦争と暗黒政治に終止符を打とう」と力強く呼びかけたと。また、多彩な活動に取り組んでいた。代議員の発言、会員拡大の自主目標を達成して大会に臨んだ北海道の取り組みなどを紹介。そして、中央が提起している「生存する犠牲

者がいなくなつた同盟運動」に関して、全国大会で自らも発言したこと、支部でも名称問題も含めて大いに議論しようと訴えました。

小松実中央本部副会長、渡辺ゆり子日本共産党県副委員長の来賓あいさつ、同盟秋田県本部・宮城県本部・山形県労連からのメッセージが紹介されました。

▼瀬野事務局長が23年度活動報告と24年度活動方針案を提案。署名運動に関して、目標に到達できなかつたものの有権者比で全国一位、運動に確信を持つて一層前進しようと訴えました。24年度の方針としては、中央発刊の『テキスト』を全会員に普及し、全支部・全会員による学習会の開催、県有権者^{1%}(8,500筆)の署名・400人会員の達成、自治体請願への挑戦、顕彰活動や他団体との共同事業の取り組み、女性部の活性化など、治安維持法成立100

年の節目にふさわしい活動を展開しようと訴えました。

▼山川事務局次長・財政担当者

から23年度決算報告・監査報告、24年度予算案を提案。▼24年度県本部役員の推薦名簿を瀬野事務局長が提案。

▼挙手の発言も含め9人が発言。

提案されたすべての議案は原案通り満場一致で採択されました。特別決議「全国2万人、山形県400人の会員拡大で、戦争する国ではなく、平和と民主主義が花開く日本を切り開いていきましょう」を採択。白根澤会長の音頭で「ガンバロウ」三唱、菊池副会長の閉会のあいさつで大会は成功裡に終わりました。

【代議員の発言(概要)】

署名の取り組みと支部活動

米沢支部 須貝 健一

署名、支部目標には達しなかつたが米沢市有権者1%を超えた一定の役割を果たした。米沢市職労の協力が大きな力となつていて。署名依頼の団体には、署名の趣旨を分かり易く

説明したお願ひ状を支部でも出して
いる。また、署名の書き方を添付、

すべて自筆で守ってくれる。むしろ
内部でダブリをなくす課題がある。

署名活動に参加している会員は30%
に留まっている、全会員に広げるこ
とが最大の課題。

治安維持法犠牲者がいなくつた段
階での同盟活動の在り方について一
戦前からの歴史を語るのは同盟だけ、
小松さんの講演で一層確信が持
てた。何年も続いている署名運動は
大変、しかし署名がなければ多くの
人に治安維持法の歴史は語れなくな
る。

この一年間で5名入会、目標を超
過達成した。「3・15、4・16学習
会」でNHK-ETV「治安維持法10
万人の記録」DVDを視聴。昨年入
会した方や会員以外にも案内を出し、
会員拡大につながった。昨年入会し
た若手のホープが本日代議員として
参加している。

役員会月1回開催に努力している。
30分間は『治安維持法と現代』の学
習を入れている。「支部ニュース」
の発行が課題。

署名活動に取り組んで

上山支部 橋本喜代子

一年半前、映画「伊藤千代子の生
涯」を見て、憲法を無視し軍拡に進
む現状で自分にできることをしなけ
ればと思入会した。

支部で署名活動が提起され、署名
用紙の訴えを読み、多くの人に事実
を知らせることができと思った。そ
こで、近所、知人を訪問。ロシアは
ウクライナを侵略しているが、国
では戦争反対者を処罰している。戦

前日本でも侵略戦争に反対し、國の
主人公は国民と訴えた人を治安維持
法で逮捕、拷問し処罰した。署名用
紙の小林多喜二も有能な作家だった
が、拷問を受けてその日のうちに殺
された。

世界の主な国々は謝罪と賠償が進
んでいるが、日本では謝罪も賠償も
していない。「声を大きくしていく
ことが『ふたたび戦争と暗黒政治を
許さない』ことと思うから、是非、
署名してください」とお願いした。
真剣に話を聞いてくれ、自分だけで
なく「家族の分も」と言つて署名用

紙を預かってくれる人もいた。

一年目は、最終的に50人分、二年

目はイスラエルのガザ攻撃の残虐行
為が行われていること、眞実を隠蔽
するためジャーナリストが殺された
こと、戦争するときは言論統制が起
ることなども語り、30人分書いて
もらった。

事実を知らせることの大切さを改
めて考えさせられた。

鶴岡市議会の請願に向けて

鶴岡田川支部 岩城 充

鶴岡田川支部は結成して30年であ
るが、2014年まで鶴岡市議会に
6回請願活動を行ってきた。ことご
とく不採択であった。この10年間、
執行部が変わり、またコロナ禍で取
り組めなかつたが、今年の9月議会
に7回目の取り組みを進めている。
請願活動は、紹介議員の選定と打
ち合わせ、総務常任委員との面談、
すべての会派代表との面談、すべて
の議員との対話と資料の手渡しなど
支部の底力が試される。

鶴岡市議会はこれまでの状況と違

い、18人いた自民党の議員が今は9人。本会議までいけば採択される可能性がある。そのためにも公明党の3人にはたらきかけを強める。創価学会の初代会長の牧口常三郎も治安維持法で獄死、二代目も逮捕、宗教家も治安維持法で多く犠牲者となっている。

請願成功のために、これまでの論議をもう一度読み返し準備をしつかりして全議員にはたらきかけていいたい。

「酒田捕虜収容所・空襲記録」

刊行に取り組んで

酒田支部 佐藤 良和

今年の3月「酒田捕虜収容所・空襲記録」を冊子にした。2012年、「酒田捕虜収容所」に関する資料が京都の方から瀬野さんに送られてきたものを頂いたが、手を受けられずにいたところ、19年に酒田で「酒田捕虜収容所・空襲」に関する勉強会がはじまり参加した。2年かけてまとめ刊行することができた。予想を超えて読まれ増刷している。

同じ時期の酒田で、中国人強制連行事件も起きている。終戦末期の酒田でおこった歴史を記録に残し、後世に伝えていかなければならない。国賠同盟の活動も同じであるが、こうした取り組みは平和の礎を築く。是非、一読をお勧めしたい。

活動に確信をもつて前に(編集者)

西村山支部 佐藤 光康

NHKの朝ドラ「虎に翼」、「日本国憲法」の伝え方見事だ。印象に残っている言葉「おかしいと声をあげた人の声は決して消えない。その

声がいつかだれかの力になる日がきっと来る」。私たちの声、私たちの活動も消えることはない、10年後、20年後の人たちに伝えられるでしよう。

小松講演と「テキスト」を力に活動を飛躍させたい

山形支部 青木 勝

小松さんの講演、治安維持法成立から100年経っているのに未だに治安維持法体制が決着されないのでいるのは何故か? アメリカ占領とその転換を契機に一時公職追放された特高官僚がことごとく国政の主要な位置にカムバックし政治を牛耳つている状況になつていて、非常にわかりやすかつた。この講演を力に署名運動、会員拡大を中心に活動を大きく飛躍させていきたいと思う。

山形支部の署名は昨年より上回つ

16事件で映画「伊藤千代子の生涯」に出てくる市ヶ谷刑務所に収監され

た時、共産党細胞をつくり獄中での生活改善要求や転向拒否闘争を行つた。出獄後、「この獄中体験を小説『監房細胞』としてまとめた。この作品は、小林多喜二の小説と同じくらいにプロレタリア文学として有名になつた。こうした多くの先人たちの闘いを受け継ぎ、その声を聞きながら、私たちの活動に確信をもつて頑張つていきましょう。

『監房細胞』としてまとめた。この

たが、全体の約半分は3人で100筆、200筆以上と山形市職労が取り組めないということで頑張った。24年度は、すべての会員が署名に取り組めるようにするここと、会員拡大・特に女性と若者の拡大、そして支部役員を増員することが課題。小松講演と新しい「テキスト」の学習を力に飛躍させたい。

同盟入会の想い

米沢支部 大島 優

入会したのは昨年の12月、支部の学習会、「3・15、4・16」学習会に参加、戦前こんな歴史があつたのか、今の政治も余り変わらないなども思った。

岩波新書『戦争と検閲』—石川達三を読み直す』を読み、治安維持法で「生きている兵隊」など伏字にされ発禁処分に、石川の悔しさが伝わってくる。「戦争は表現の自由を奪う」と思い知らされたとき治安維持法同盟に出会ったのが入会のきっかけになつた。共に頑張りたい。

〈小松実氏の記念講演への感想〉

◆年代を追つてのお話、大変わかりやすかつたです。日本が戦争責任をあいまいにして戦犯者や戦争遂行に加担した特高が綿々と現代政治につながつていることがよく分かりました。米沢支部の役員会では最初に学習として『治安維持法と現代』を30分程度輪読して討論しています。6月27日は丁度小松先生の論文を学習しました。本日の予習になつた様な気がします。最後の「国賠同盟の存在意義」には大変納得しました。(米沢・須貝健一)

◆戦後、アメリカ占領軍・GHQによつて解放された治安維持法犠牲者たちが、自らを弾圧した特高警察を告訴し、直ちに謝罪と賠償を求める運動を起こさなかつたのは何故か。解放と同時に多くの犠牲者たちは、あらゆる分野で民主化運動に全身全霊で取り組み、自分の名誉回復まで気が回らなかつたと聞いている。その間、GHQは真の民主化を恐れ、反共に転じ、レッド・ページに

乗り出し民主化運動を弾圧した。一方で戦争犯罪人(戦犯、特高など)を解放し、彼らを利用し、日本を軍事的・政治的・経済的にアメリカの従属物へと仕立て上げた。小松さんの講演を聞き、改めて、国賠同盟の運動は日本の政治から戦犯・特高勢力を追放し、アメリカ従属から解放し、眞に日本国憲法が生きる政治をめざす闘いであると思つた。(T・M)

◆わかりやすいお話ありがとうございました。大筋はわかつていたつもりでいましたが、特高が戦後これほどまで政治の中核に関わつていたとは思いませんでした。

人殺し(虐殺)しても教育委員長、文科省(文部省)勤務とは、うそをつくこと、人権を踏みにじることをしてきた人が人を育てるトップにどのようにしてなれるのだろうかと正直驚きを隠せません。権力とは、このような人を教育政策の策定者にすることに改めて恐ろしさを感じます。国民をだましながら、ここまで特高が権力に関与していることを肝に

銘じてものごとを考え、できるところまで頑張りたいと思います。ありがとうございました。

(上山・橋本喜代子)

◆「小松さんの講演」とお聞きし期待を持つて参加させていただきました。期待以上に説得力のある講演でした。千葉にいた時代から(40年近くになりますが)その話しぶりにはとても高いものがあつたと記憶しております。(当然ながら、教え子の中学生からも絶大な信頼がありました)本当に久しぶりに「小松節」をお聞きし、ありがとうございました。

周囲の人たちにどのように話していくか自分なりにもう一度考えてみたいと思います。今後も一層小松さんのご活躍をお祈りしています。私も山形で頑張っていきたいと思います。

(北村山・小久貫 登)

く分かつた。憲法を生かすにはそれを妨害する勢力を追い出さなければならぬ、だから私は国賠に入会しました。
 (北村山・板垣秀雄)

◆「戦争する国」づくりが特定秘密保護法あたりから始まつたのではなかとうすうす思つていたが、時系列的に整理して頂いたのでとても石垣政志さんを偲んで

石垣政志さんは、山形師範学校卒業後中学校の教壇に立ちました。理科教師として実践に励むとともに、教職員の権利を守り子どもたちにゆきとどいた教育を保障しようと、教職員組合運動にも積極的に参加しました。1970年からは、5年間にわたりて県教組運動の先頭に立ちました。

退職後は、退職教職員の交流と生活と福祉の向上、平和と民主主義の擁護、民主教育の確立に寄与することを目的とした金山形退職教職員連絡協議会の設立に尽力しました。93年の設立と同

く生き残り、弾圧・レッドページが起きた、ということが分かつた。と教訓を踏まえて政治がかわつたわけではない。さらに連綿と弾圧勢力が

◆「戦争する国」づくりが特定秘密保護法あたりから始まつたのではなかとうすうす思つていたが、時系列的に整理して頂いたのでとても驚いています。ありがとうございます。
 (米沢・大島 優)

時に初代事務局長に就任。その後会長も引き受けられ、全山退教協の運営を支えました。

98年には、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟山形県本部の理事に就任。その後、県常任理事や県副会長と北村山支部長を16年間歴任し、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないための運動を支えました。

2003年・07年の東根市議会議員選挙の際には、選対事務局長を引き受けくださいました。選挙運動の陣頭指揮をとるとともに、自らも汗まみれになつてチラシまきに奔走し、支持拡大に奮闘しました。石垣政志さんの人生は、社会進歩を求めて続けた生涯でし

よく理解できた。

学校で治安維持法があつたために弾圧されたという話は習うが、その教訓を踏まえて政治がかわつたわけではない。さらに連綿と弾圧勢力が

た。本当にご苦労様でした。そして、ありがとうございました。先生の志を胸に、私も残りの人生を生きてまいります。

山形県本部大会へのご挨拶

2024年7月6日

治安維持法犠牲者國家賠償要求同盟
中央本部会長 吉田万三

山形県同盟のみなさんが治安維持法犠牲者等の闘いと抵抗の歴史を受け継ぎ、その名誉回復と顕彰のためのご奮闘に心から敬意を表します。

イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への大規模爆撃は直ちに中止せよ。
ジェノサイドをやめよ。ロシアの国連憲章と国際法に違反するウクライナ侵攻をやめよ。

映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」上映運動をすすめて現在、530会場9万4千人を超える皆さんに勇気と感動を与えることができました。こうした活動と結んで新支部も誕生いたしました。

第41回全国大会は全国から160人が参加して大成功しました。「1日も

早く2万人目標を達成する」ために取り組んだ「会員拡大の特別期間（4月1日～6月30日）」のとりくみでは、6月30日までの10人拡大の挑戦者は7道府県14人で141人を拡大。5人拡大の挑戦者は7都道県23人で133人を拡大し大会成功に大きく貢献いたしました。

日米共同の「戦争する国づくり」「9条改憲」策動を許さない草の根の闘いをすすめ第1に、同盟要求実現の働き手である会員拡大の自主目標を熊本・新潟・埼玉に続いて千葉・北海道が達成しました。全県で早期に達成しようではありませんか。

第2に、会員のみなさんの活動の「場」は、「支部」であります。支部に所属していない会員さんには、活動の権利を保障していないということになります。

会員さん同士のつながりと交流も、支部が土台です。会員拡大も支部を舞台にしないと大きな成果を挙げることはできません。同盟運動も支部づくり、支部の活性化が基本です。前大会から9県都13支部が結成されました。

『学習テキスト』が完成。全会員に購読を呼びかけ「同盟とは何か」を学びましょう。

第3に、国会請願署名の飛躍的前進を勝ち取ために「会員ひとり一人が5筆、10筆を」を実現するための計画を練り上げようではありませんか。

6月の時事通信の世論調査では岸田自公政権の内閣支持率は、前月3%減の過去最低の16.4%を更新。自民・公明・維新の政治資金規正法「改正」案を「あまり評価しない」33・0%、「全く評価しない」39・2%で7割超は評価していません。企業団体献金を「禁止すべきだ」52・4%、「認めるべきだ」19・3%を大きく上回りました。

来るべき総選挙では、自民・公明とその補完勢力に打ち勝ち政権交代を実現するためには、「市民と野党の本気の共同」が必要です。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」を基本要求とするわが同盟が、市民と野党の共同を前進させるために奮闘することは、欠かすことのできない課題です。『野党は統一を』の声を草の根から高めよう

ではありませんか。
山形県本部総会のご成功と県同盟の皆さんのいっそうのご奮闘を心から願つて、ご挨拶といたします。

村山俊太郎・ひでの慰靈祭、記念講演

9月15日(日) 午後1:30 ~ 慰靈祭

「来雲寺」墓地(俊太郎・ひでの墓、顯彰碑前)

(天童市山口2400)

午後2:30~ 記念講演会 天童市立山口公民館

(天童市山口1969-1) 資料代500円

○村山ひでの教え子・須藤礼二さん(92歳)語る

山口小学校でのひでさんとの思い出・戦中の村山一家

○講演:「生活主義教育運動」とは

講師 太郎良信 文教大学名誉教授

2024年度 治安維持法国賠同盟山形県本部役員名簿

理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	常任理事	次長	次長	事務局長	副会長	副会長	会長	役職	
渡辺ゆり子	海老名傑	村上キヨエ	菅野真治	佐藤哲	須貝健一	佐藤良和	岩城充	青木勝	福島憲一	山川隆	瀬野幸男	○石塚俊朗	菊池喜英	白根澤澄子	氏名
山形	西置賜	東置賜	北村山	西村山	米沢	酒田	鶴岡田川	山形	上山	山形	天童	鶴岡田川	上山	米沢	支部

顧問	顧問	顧問	顧問	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	役職	
○は新任	戸村昌也	高橋嘉一郎	石塚知二	鈴木光子	鈴木理枝子	三澤寛	青木慶一	伊沢良治	川田律子	高橋俱子	鈴木淳子	鳥羽しま子	元木章	菊池克三	氏名
敬称略	鶴岡田川	山形	鶴岡田川	山形	山形	山形	西置賜	東置賜	北村山	西村山	米沢	天童	酒田	鶴岡田川	支部

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

第32回 東北ブロック交流集会 in 宮城

とき

2024年10月15日(火)13:00(受付12:00より)~16日(水)12:00

ところ

秋保温泉「リゾートホテル クレセント」

参加費

1人12,000円(宿泊・食事なしの場合、1人1,000円)

※夕食のみの方はご相談ください

ぜひお聴きください

15日(火) 記念講演 (13:30~14:40)



“治安維持法100年と 山本宣治と東北”

えいじま たみお
講師 永島 民雄さん

治安維持法賠償同盟中央本部事務局長(新)

東京山宣の会会長 歌人
前全国私教連中央執行委員長

参加申し込みは 各県本部へ (10月5日最終締切)

◆ 電車で参加予定の方は各県本部にお知らせください。

オプションツアーにご参加を!

「仙台北山五山」めぐり

*千葉卓三郎の記念碑⇒資福寺

*高橋とみ子の墓⇒秀林寺

*坂猶興の墓⇒日淨寺

16日(水) 12時解散後…

(車で10分)龍鳳(民商・ラーメン店)
で食事⇒茂庭台・仙台トンネル経由、北山
5山へ(約40分)⇒秀林寺・資福寺・日
淨寺(約1時間)⇒午後3時解散予定

要
予
約

16日(水) 特別報告

(8:35~9:05)

村口 至さん

(坂総合病院 名誉院長)

『平和を求め戦時政策と

闘った医師人生

～坂猶興と坂病院』

